

教育経済建設常任委員会行政視察報告書

西 田 智 男

○千葉県佐倉市

「民間プールを活用した水泳授業の民間委託」について

【所 見】

佐倉市では、校舎、体育館の耐震工事に伴い、老朽化したプール施設の撤去を進めた2校の小学校において、民間施設のプールを活用して、水泳授業の外部委託を実施している。

学校の先生に加え、スイミングスクール等民間のインストラクターも水泳の指揮に当たるため、児童の泳力がついたと評価を得ている。民間プールの活用は、水泳授業の予定が天候により左右されないこと、安全管理面での教員の負担が軽減されること、水温や水質、衛生管理等の面で安定した環境で授業ができることなどから保護者や学校関係者の満足度は高いとのことであった。

また、スクール側にも、利用客の少ない平日昼の時間帯にサービスを提供できるという利点があるとのことだった。

佐倉市では、32校プールが設置されており、1校（中学校）休日に市民開放を実施している。また、水泳の授業時間は週に4回で2時間程度実施しているとの事。民間委託をして見えてきた成果については、「特にない。」とのことでした。平成26年プール関連経費は37校で2900万円+400万円=3,300万円/37校=103万円という報告も受けた。

○千葉県我孫子市

「新規就農者育成事業」について

【所 見】

我孫子市では、新規就農者が就農後に安定した農業経営が行えるよう、農地確保、技術向上、販路確保、施設整備の拡充と資金確保をサポートしている。また、補助制度面においては、我孫子市農業の担い手として着実に定着・成長していくことを目的に、就農した年度から5年を限度として就農に関する経費の補助を行っている。

市の支援策として、農地の幹旋その他農地の賃借料の補助、農業研修農家先幹旋、農業機材設備など整備の補助、就農に関する研修費（経費）の補助、就農するまでの実践農場の提供を行っている。その他、国の支援を活用しながら事業を

実施している。

我孫子市は、昭和 45 年に県下 22 番目の市として誕生した。人口 6 万人弱であったが、首都圏に 30 キロメートルということで、工場誘致、学校誘致など特に行わず人口が増加し、131,559 人になった。昭和 50 年、農業従事者数 2996 人が平成 27 年 1,095 人と高齢化のなか、減少化にある。

また、新規就農支援事業として、農地賃貸料を 10 万円(年 2 万円)限度に全額補助、農業用施設、設備、備品、機械等の整備費補助 50 万円を限度として 2 分の 1、他に就農研修費補助、宣伝広報費補助、など 10 万円を限度に 2 分の 1 の支援を行っている。

我孫子市は、急激な人口の増加と恵まれた農業区域にあるまちとして、自然のなかの居住空間にありたいとの自然な欲望にも合致した政策の展開した素晴らしい街づくりだと思った。